



憲法9条の会 つぐば ゆい 結

コミュニティニュース

2008.11.16 No.24

発行 「憲法9条の会 つぐば」

〒305-0005 つぐば市久保 1-10-12 1-401

電話 090-3811-3753, Fax 029-856-2286

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

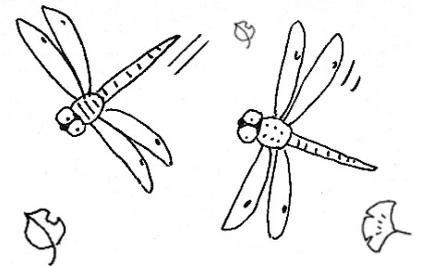
憲法9条の会 つぐば「3周年記念のつどい」 約400名が参加！

「つどい」を新たな出発点として、

これからも「9条運動の輪」を拡げていきましょう！

落ち葉が風に舞い始め、さわやかな季節です。

10月4日開催の「3周年記念のつどい」には、約400名の方が参加して下さいました。1年間の活動報告と松本侑子さんの記念講演、そして庄野真代さんの歌とトークで、参加者が心ひとつに、これからも「憲法9条を変えさせない」よう確信を持って、運動を拡げていこうと決意しました。皆様のご協力に心から感謝いたします。



今、アメリカ発の金融危機に端を発した景気悪化が急速に進行しています。しわ寄せを受けた企業は、派遣や日雇い労働者の「雇い止め」へと走り、中小企業の営業も悪化しています。多くの国民も異常な物価の高騰や不況で生活が大変になっています。

これに対する麻生内閣の「追加経済対策」は、大企業・大銀行・大資産家の応援が中心で、国民に対しては1回限りの「給付金」に「3年後の消費税アップ」。国民の暮らしを守る姿勢はまったく見られません。

一方で、国民の税金でアメリカの戦争支援は継続しようとしています。インド洋上での海上自衛隊による外国軍艦への給油活動を継続させるために「新テロ特措法延長案」の早期成立を画策し、さらにアメリカの要求で他国籍軍の負傷兵を搬送する口実で、陸上自衛隊ヘリのアフガン派遣も検討されています。

「戦争でテロはなくせない」ことは、すでに明らかです。「戦争をしない」と決めた平和憲法を持つ日本は、戦争支援をきっぱりとやめ、アメリカに「戦争の停止」を呼びかけるべきではないでしょうか。

憲法9条を生かして、税金は国民の“いのちと暮らし”を守るために使わせましょう。“憲法9条を守れ！”と、さらに賛同の輪を大きく拡げていきましょう！



行動予定

12月7日(日)、1月4日(日)：定例署名行動
11時半～13時

12月集合場所未定、1月中央公園アルス図書館前集合
12月21日(日)：11時～12時半 並木公民館
「九条の会」全国交流集会報告会(予定)

1月11日(日)：成人式署名行動
11時半～(予定) つぐばカピオ前集合

1月18日(日)：定例会
10時～12時半 並木公民館

◆賛同人 682名(つぐば市：523名)

11月4日現在 ♪♪♪♪

◆9条署名 6093筆

11月4日までの累計

(10月4日「3周年つどい」：48筆

10月5日 定例街頭署名：74筆

10月21日「10.21集会」：23筆

11月2日 定例街頭署名：78筆



10月4日「3周年記念のつどい」報告

署名1万筆と小学校区に地域9条の会を！

「憲法9条の会つくば」は、つくば国際会議場で設立3周年記念のつどいを開催しました。

つどいは、賛同人の片平博さんの和太鼓演奏でオープンしました。身体が震えるような力強さと繊細な響きをもつ太鼓の演奏に、しばし時を忘れる思いでした。

開会の挨拶は堀部一寿代表が行い、「憲法前文の歌」を朗々と歌い上げて挨拶を締めくくりました。スクリーンに映し出された日本国憲法前文の格調高いその文言に心引き締まる思いでした。

第1部では、伊藤清子代表が、これまでの活動報告と4周年記念のつどいまでの基本方向を示し、つくば市内の賛同人を600人にする、署名を1万筆集める、小学校区ごとに「9条の会」を作る、といった具体的な目標を提案しました。その後、樋田幸夫代表から、3周年のつどいに茨城県各地の9条の会から激励のメッセージが寄せられていることが報告され、共に運動を広げて行く決意が表明されました。

憲法9条を守り平和と核廃絶でイニシアチブを！

第2部は松本侑子さんの記念講演です。松本さんは「憲法9条を変える日本、変えない日本」と題して講演を行い、改憲論者の主張を一つ一つ見事に反論した上で、「憲法とは国民が国家に守らせるべき規範」であり、「21世紀のアジアの平和は、まさに私たちが日本国に憲法9条を守らせ、平和と核廃絶の国際的リーダーとしての役割を果たさせることによって実現するものである」との明確なメッセージを伝えてくれました。松本さんは、筑波大学で政治学を学んだこと、所属している「ペンクラブ」が、戦争中の経験から戦争に反対し平和活動をしていること、「赤毛のアン」の作者モンゴメリは、戦争に抗議して自殺したという事実が明らかにされたことなども話されました。

平和のメッセージをうたごえにのせて世界に！

第3部は庄野真代さんによる歌とトークによる平和へのメッセージによって至福の時間を過ごしました。庄野さんは今、「国境なき楽団」を主宰していますが、9・11事件以後は日本各地で「セプテンバーコンサート」を開き、平和への想いを伝えています。今回の「音楽にのせて・・・」では、新しい曲だけでなく昔の曲もいくつか歌いましたが、「歌は同じでも、それに込めた想いは違う」と説明された庄野さんの言葉に、ハッとしました。前へ前へ、という生き方が示されているのだと実感しました。最後に「里の秋」と「もみじ」を会場の皆さんが2つのグループに分かれて一緒に歌い、美しいハーモニーをかもし出しました。

つどいの参加者は約400名でした。つどい成功のために準備と裏舞台で支えて下さった方々に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。(実行委員長:長田満江)



3周年記念のつどい アンケート報告

(一部抜粋)

◎ 講演・コンサートの感想、意見

- ◇ 松本氏の9条の詳しい話は、とても良かったし、又よい勉強になり、9条を守る大切さを再認識した講演でした。庄野氏の人生の素顔が見え、平和へのメッセージを、又活動を自分のライフワークにしている姿に素晴らしいものを感じた。とてもよい記念のつどいでした。(60代・女性)
- ◇ 9条を守り、改憲をさせようという人々への論理的反論を明快に聞け、すっきりしました。しかし、改憲せよという人々は依然として40%あり、その動機は何なのか分からなくなりました。(経済的發展重視?)(50代・男性)
- ◇ 松本さんの講演がもっと聞いていたかった。”憲法9条を改憲したい人たちの言い分”は分かったが、その後の”9条を変える日本・変えない日本”がとても短くなってしまって残念。とても理解し易いお話で良かったです！庄野さんの歌声も素敵

でした。最後の合唱、とても楽しめた。(20代・女性)

- ◇ 松本さんの講演で改めて戦後憲法がGHQの押しつけではなく出来たことを思い、とてもよかった。(40代・女性)
- ◇ 松本さんの講演、庄野さんのメッセージそして、会の代表の方のお話を聞いて、文字で読む憲法のすばらしさを深く、頭ではなく心で感じる事が出来たように思います。また、庄野さんの生き方の一端にふれて、とても勇気づけられました。まさに「Be yourself」だと思います。(50代・女性)
- ◇ 松本さんモンゴメリが世界を憂いて自殺していたとは。もっと赤毛のアンのお話を聞きたかった。庄野さん「風の道」が印象的だった。平和を願う美しい歌声に聞き入りました。(50代・女性)
- ◇ 松本さんの講演での改憲の理由のお話は改憲派の方とお話する時に役立てようと思います。(50代・女性)
- ◇ 講演において主だった改憲論の根拠に対して、反論されたが、これはいずれも説得力のあるものであった。これらの議論を再度検討して憲法問題を考えてみたいと思う。(60代・男性)
- ◇ 丁寧な話の展開で、且つ理念的(普遍的)な話の内容で、いろいろと啓発されました。戦後とは何であったか、それからの脱却以下、集団的自衛権、アジアと園中の日本などが多く予定されていたようですが、これらについてお話を詳しく聞けなかったのは大変残念でした。集団的自衛権と日米安保の問題、アジアの平和の展望は”運動”の展開にとって大変重要な事柄です。議論いただける次の機会を期待します。(70代・男性)
- ◇ 改めて憲法のすごさを知り、本当に心強い思い絶対に改憲できないぞと思いました。松本さんの話よくわかりこんな私でも理解できました。(50代・女性)
- ◇ 松本さんの話は今ひとつでした。すみませんが正直な感想です。庄野さん 日本は実は貧しいと思いますよ。とやかくは申しませんが。海外の援助もそれはそれで人の生き方です。(60代・男性)
- ◇ 作家・翻訳者らしく憲法前文・9条の言葉の解釈にこだわり、選考された政治学の知識を活かした説明はとてもわかりやすく説得力があった。CDにおさめられた曲はすべて知っていた。しかし、「懐かしいだけでなく、新しいアレンジに注目してほしい」とのお話、今夜CDを聴きながら確認しようと思う。楽しみです！「風の道」お話もエコロジーを学ぶものとして興味深かった。お二人共通のキーワードは「伝えること」ですね！！(50代・男性)

◎ 会場、「つどい」運営について

- ◇ 内容わかり易く、時間もきっちり居心地良かった。
- ◇ とても良かったので多くの方に参加してもらいたかった。もっと広報をして、会場を一杯にして欲しかった。
- ◇ 近所で私にとってはうれしかったが、参加が昨年とあまり変わらないようなのが残念。
- ◇ 日程について：土浦の花火大会と競合する日は避けた方がいい。

◎ 「会」への意見・アイデア

- ◇ 本日のような会を時々開催することがよいと思います。
 - ◇ 多方面の方々の講演を聞かせて下さい。(金銭的に大変かもしれませんが、多少の援助は惜しまないつもりです)。
 - ◇ 少しずつでも、草の根的に広がって(9条が大切なことが)、心強いかがりです。
 - ◇ 会場の参加者やスタッフの皆さんが交流できるような、意見を交わせるような熱い思いを語り合えるような企画があれば。
- ※ アンケートにお答え頂き、ありがとうございました。ご意見・感想は今後の会の活動に生かしていきたいと考えます。

第3回「九条の会」全国交流集会

<http://www.9-jo.jp/zenkokukouryuu.htm>

11月24日(月、祝日) 於:日本教育会館(東京都千代田区)

午前:「九条の会」よびかけ人あいさつ

特別報告「アフガニスタン情勢について」:講師:谷山博史(国際ボランティアセンター代表)

午後:分散会と青年学生分科会

参加者募集中!連絡先:090-3811-3753

「設立3周年記念のつどい」 (資料)

「つどい」にご参加いただいた賛同人の皆様には繰り返しのようになりますが、当日、報告提案された「活動報告とこれからの基本方針」を掲載します。

I. 活動報告

福田首相の政権投げ出しで麻生内閣に変わりましたが、「憲法9条改悪」路線は引き継がれています。この度の自公政権合意にも、「インド洋上での自衛艦船による補給支援」と「アフガニスタンでのアメリカの報復戦争の支援」の継続を明記しました。アメリカ言いなりの「憲法違反の政治」を継続しようとしています。

多くの国民は「憲法改定」に反対しています(憲法記念日の各新聞の世論調査)。憲法9条に対しては、6割以上の国民が「改悪」反対を表明しています(朝日新聞世論調査)。また名古屋高裁は、「自衛隊のイラク派遣は憲法9条違反」と判決を下しました。「9条世界会議」(参加者約34000人)でも、「武力に頼らず平和をつくる憲法9条こそ世界の希望」であることをしめしました。そのことの正しさは、アフガニスタンやイラクでの戦争・占領の泥沼化をみれば明らかです。

今こそ、私たちの「9条運動」に確信を持って、「憲法9条を守ろう! 憲法をくらしに生かそう!」と賛同の輪をさらに大きく広げていくときです。

1) 賛同呼びかけ

賛同人の方それぞれが、地域・職場・分野などで賛同を拡げています。また、さまざまな機会に広く賛同を呼びかけました。10月1日現在の賛同人総数は667名、内つくば市在住の方は513名です。「3周年記念のつどい」までに、つくば市で500名以上の賛同人をと目標に掲げ、賛同人の皆様のご協力により達成することができました。

2) 署名行動

つくば市有権者15万人の過半数獲得を目標に「憲法9条を変えさせない」署名を、個別に、地域・職場ごとに、そして月1回定期的にアルス

前とクレオ前で取り組み、時には“日本の叙情歌ライブ”があり好評でした。10月1日現在、総数5822筆です。国会未提出署名約4000筆を間近の国会に提出する予定です。署名は、数のみにこだわるのではなく「憲法9条を変えさせない」世論の国民有権者の過半数の形成をめざしてと取り組んでいます。署名行動を通して対話活動が活発に行われ、成果を上げています。

3) 地域ごとの活動

- ・「梅園・東・稲荷前9条の会」は、独創的なチラシを作成配布して賛同を拡げています。
- ・「筑波地域憲法9条の会」では、ソバ打ちなどの交流を通じて、広く「9条運動」に取り組んでいます
- ・他地域でも、チラシの配布や個別署名などで賛同を拡げ、住民の1割以上が賛同人という地域もできています。草の根的に地域に根を下ろした「9条運動」の取り組みへ向けて前進がみられました。

4) 企画、催し物

- ・「2周年記念のつどい」(07.10.8)では映画「日本の青空」を上映し、約400名の方が参加しました。映画鑑賞を通して、「憲法9条はアメリカの押し付け」という改憲論が間違いであることを確信しました。
- ・「ヒロシマ・ナガサキ」DVD上映会(08.8.31)を、「3周年記念のつどい」のイベントとして催しました。約20名の参加者で、「平和への想い、9条への想い」を語り合い、とても有意義でした。
- ・他団体との共同行動として、「5.1メーデー」、「5.3憲法フェスタ」、「母親大会」、「10.21国際反戦デー」などに協力しました。
- ・「九条の会全国交流集会」、「ピースナイト9」、「9条世界会議」へ参加者を派遣しました。

5) 広報活動

・コミュニティー紙「結」を隔月発行し、その時々
の憲法をめぐる動きや会の活動をお知らせしま
した。また賛同人の積極的な参加を求め、賛同人
の交流の場となるよう「文芸9条・ホッとたいむ」
などのコーナーを設け、紙面の改善に取り組みま
した。

・毎月の定例街頭署名行動時には、オリジナル「9
条チラシ」とその裏面にその時々憲法をめぐる
動きを書き、「憲法9条を守ろう」と訴えました。
9条チラシは、1年間に約2500枚配布しまし
た。9条チラシを更新し、これからの地域ごとの
行動に使う予定です。

・「成人式」、「8.9 原爆の日全県行動」、「9.9.9.9
全国一斉行動」などで独自に作成したチラシや
「つどい」チラシなどを配布しました。

6) 活動体制

5名の代表と複数の事務局会メンバーを中心
に、毎月、事務局会と定例会を交互に開催し、会
の活動を支えてきました。他にも状況にあわせて
会合をもち、催しによっては実行委員会をつくり、

活動への参加を広く呼びかけてきました。

2008年3月より、事務局 12名、世話人
27名で構成しています。

II. 今後の活動の基本

「憲法9条の会つくば」も4年目になり、つく
ば市民に広く知られる存在になりつつあります。
市民の過半数に「憲法9条を守る勢力」になって
いただくためにも、地域ごとの活動を基本に、職
場・分野・サークルなど草の根的に賛同を拡げる
活動を続けていきたいと思います。

また若い世代に対しても、積極的に働きかけてい
きましょう。

「4周年記念のつどい」までに、次の目標を提
案します。

- ・賛同人を、つくば市で600名以上にしまし
ょう。
- ・「憲法9条をかえさせない」署名を、1万筆以
上集めましょう。
- ・小学校単位の地域や分野・職場などに、たくさ
んの「9条の会」を作りましょう。

憲法9条の会つくば 会計報告(2007.11~2008.10)

項目	収入金額	内訳	項目	支出金額	内訳
前期から繰越	642,769		ニュース「結」印刷、郵送費	89,358	
賛同人カンパ	178,600		「九条の会」リーフレット代	12,400	
その他カンパ	16,160		その他活動費	36,650	
3周年記念のつどい	513,489		3周年記念のつどい	967,488	
内訳			内訳		
・参加費		363,000	・出演料		305,000
・イベントカンパ		8,750	・会場費		375,563
・会場カンパ		117,659	・宣伝費		199,050
・書籍、グッズ等販売カンパ		24,080	・イベント映写費		12,600
			・つどい運営費		45,275
			・看板作成、設置、撤去費		30,000
			次期へ繰越	245,122	
合計	1,351,018		合計	1,351,018	



<8月31日 「ヒロシマ・ナガサキ」DVD上映会>

戦争の悲惨さを象徴する原子爆弾による被爆者を記録した「ヒロシマ・ナガサキ」を観て思うことは、戦争がいかに人間を不幸にするかということです。人を殺めれば殺人で非難されますが、戦争では人を殺せば賞賛され、そのために全ての人と物が動員されました。全てが戦争体制に組み込まれて、それに反する者にはまず懐柔、それでだめなら容赦なく弾圧しました。キリスト教も弾圧を受けて解散させられ牧師が逮捕・拘束された教会も少数ですがありました、多くは信仰を貫き通すことが出来ず、時代の波に流され戦争を肯定し協力しました。信仰を貫き通そうとした時はすでに時遅く、1億人を敵にしなければならない状況にあったのです。9条を改悪しようと言う動きを今止めなければ、その流れが加速するでしょう。意見を言えない時代に突入する前にその流れを止めなければ、阻止するにはさらに膨大なエネルギーと犠牲が必要になります。今、改悪の流れを止めるために声を上げましょう。(阿部真庭)



<9月28日 つくば市母親大会「戦争を語り継ぐー女性たちの想い」>

「憲法9条の会つくば」と「戦争を語り継ぐ女性の会」共催の分科会「戦争を語り継ぐー女性たちの想い」では、日赤従軍看護婦であった守屋ミサさん、ヒロシマの証言者である村上啓子さん、ナガサキの被爆体験の継承者である鶴文乃さんらの自ら実践されている平和活動についての話を伺った。参加者全員が感想や想いを出し合い、ひとり一人が女性の自立とあいまって平和活動の主体になること、「被爆国・日本」国民の世界への責任などが指摘された。私は、写真は「雄弁な証言者」であり、戦争体験のない私たちでも写真の背景を勉強して、写真を用いた証言者になれるかな?などと考えました。(野崎)

<10月5日 定例街頭署名行動>

「つどい」翌日、アルス図書館前での定例行動でのエピソード。中学生1年の女性4人に「憲法9条知ってる?」とチラシを渡すと「知ってる」という返事。「9条を変えようとしているの知ってる?」と聞くと、「知ってる、でも変えてはダメだよ」と1人が言ったので署名をお願いしました。その子が「日本はすごい兵器持ってんだって」と言うと「へー」と他の子たち。私も「日本の軍事予算は約5兆円。額では世界で4番目だけど、人口1人当たり、または国土面積あたりでは、なんと世界一!だって。生活が大変な人もいるのにね」と、「つどい」での松本侑子さんのお話を引用して話しました。良く知ってる子は「そうなんだよ、これって何に使うの、防衛に使うものでないものまで持ってるんだってよ」。他の子は「それって、どこに隠してんの?」「隠してないよ。自衛隊基地にあるんだよ」と。私も「そのことを国民が知らないだけなの」と話し合い、盛り上がりました。中学生も良く考えているのだなあと感激でした。(せい)

「筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会」講演と対話の集い

【基調講演】「日本の食糧問題と憲法9条の価値」 姉齒 暁 氏 (駒澤大学 経済学)

なぜ、日本で汚染米など出回っているの? 大変な世界的な食糧危機のときに、誰がどうして日本をこんな低自給率にしたのか? など、なぞばかりの食糧問題です。みんなで考えてみませんか。

【日 時】2008年12月7日(日) 13:30~17:00

【場 所】大穂公民館視聴覚室 (入場無料) 問い合わせ: Tel&Fax.. 029-857-6593(茅野)